

『研究成果報告書』表紙の作成見本  
(A4版の縦長置き)

(別紙様式)

【表紙：背】

【表紙：裏】

【表紙：表】

⇒ 研究名称

⇒ 課題番号

⇒ 課題名等

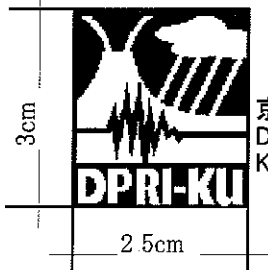
一般共同研究

19G-01

地震と活断層に関する研究

京都大学防災研究所

↓ (ロゴ: 色を付けるときは、紺色)



京都大学 防災研究所  
Disaster Prevention Research Institute  
Kyoto University

↓ (研究名称: 12 point)

一般共同研究

19G-01

↑ (課題番号: 12 point)

↓ (研究課題名または研究集会名: 18 ~ 24 point で強調文字)

地震と活断層に関する研究  
Earthquake and Active Fault

← (和文)

← (英文)

平成20年3月

March, 2008

← (作製の年月: 14 point)

研究代表者  
Coordinator

防災太郎  
Taro BOUSAI

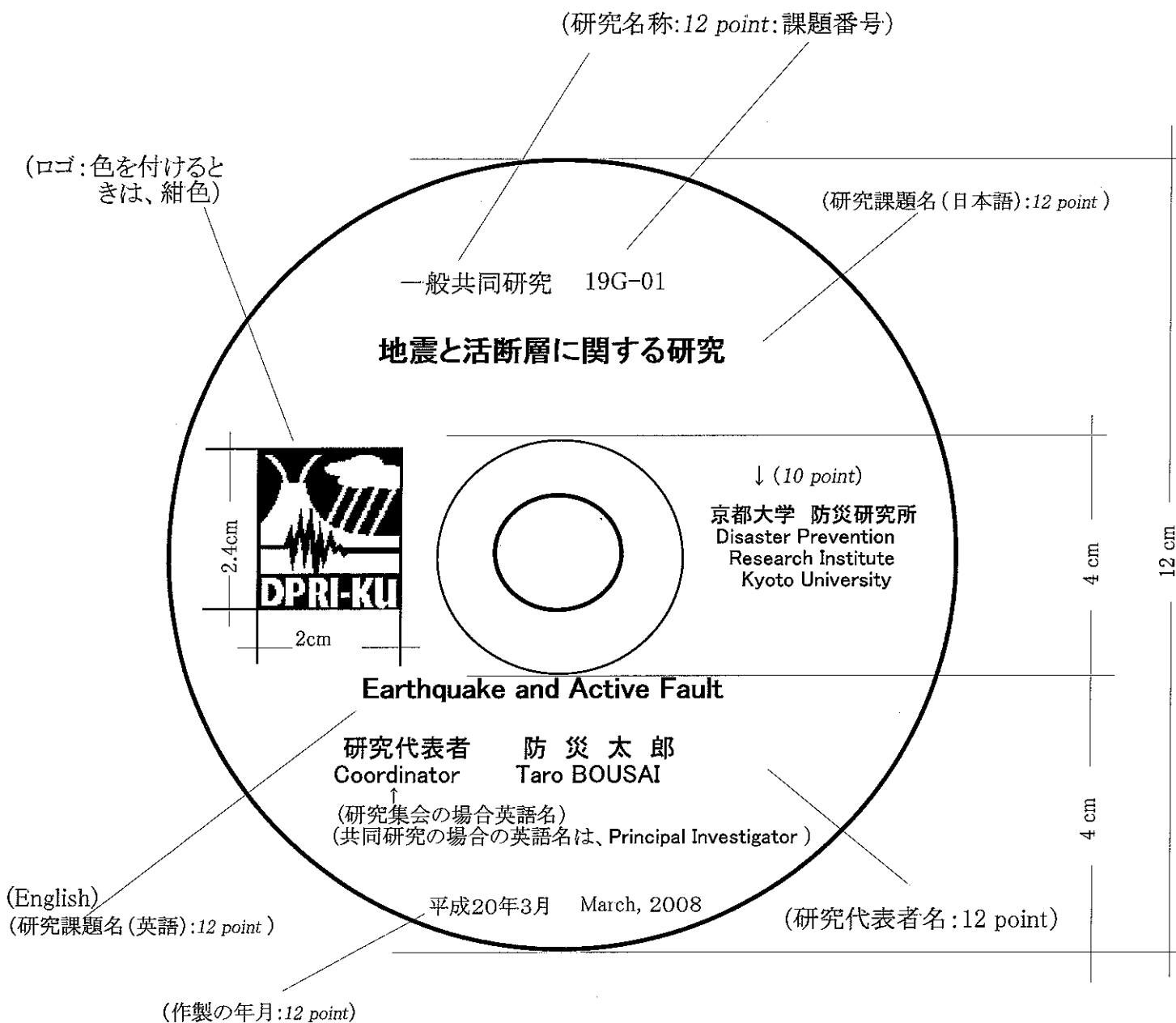
← (14 point)

↑  
(研究集会の場合英語名)  
(共同研究の場合の英語名は、Principal Investigator)

- 1) おおまかな文字ポイントを表示しておりますが、字数(デザイン含む)によって、文字ポイントは変更していただいて構いません。
- 2) 研究成果報告書のサイズは、A4版の縦長置き、左を背表紙としてください。
- 3) 6部を研究協力課共同利用担当あて提出してください。

# CD-ROM『研究成果報告書』の作成見本

【表】



- 1) おおまかな文字ポイントを表示しておりますが、字数(デザイン含む)によって、文字ポイントは変更していただいて構いません。
- 2) CD-ROMは、書き込み不可能のCD-Rとして下さい。(CD-RWは不可)
- 3) 保存形式は、一般的なパソコンで開けるよう、できるだけPDF形式(.pdf)、HTMLハイパーテキスト形式(html)、MSワード形式(doc)などのソフトにより作成いただくようご考慮下さい。  
(例)できれば、Acrobat Readerも入れて下さい。
- 4) ファイルサイズは2MB以内にして下さい。また、目次を作り、それにリンクすることをお勧めします。
- 5) DOS-V(Windows)マシンで読めるようにすること。
- 6) CD-ROMは、透明保存ケースに入れて提出下さい。
- 7) 6枚を研究協力課共同利用担当あて提出してください。